

初めて作ったしをむすぶ

東部小学校 四年一組 三上 快人

ぼくは、ほかほかの白米が大好きです。ぼ

くの家では、じいちゃんがつくったお米を食

べています。じいちゃんを作ったお米はとて

もおいしく、おかずがなくてもごはんがすす

みます。

毎日のごはんを作ってくれるのは、お母さ

んです。仕事をしてごはんも作って毎日たい

へんだなと、思いました。そこでぼくは、あ

る事をお思いつきました。それは、お母さん

におにぎりを作ってあげようと、考えました。

まず、お米とぎをしました。三合のお米を

炊はんがまに入れてお米を入れてかきませま

した。白くにゴった水を流す時に少しお米が

こぼれてしまいました。三合の線ま

で、水を入れスイッチをおしました。たきあ

がる間に、ウイナーをやきました。少しこ

げてしまいました。おいしそうにできまし

た。

しばらくすると、炊はんきからごはんのた
 けるいいにおいがしてきました。ごはんがた
 けたのでふたあけてみると、ゆげが立ち上り
 ごはんがピカピカとかがやいていました。
 次に、手をよくあらうの手ぬぐいで手を
 洗い、おむすびをつくらうとしたのですが、
 たぎたてのごはんは、とても熱くやけどしそ
 うだったので、お茶碗にごはんをもらって少
 しましてからしおむすびを作りました。作
 った後手についたお米をペろろと食べ、み
 ると、ちよつとしょつぱかつたけど、おいし
 かつたです。
 仕事でつかねているお母さんに、作った
 おむすびとウイナーを出しました。お母さ
 んは、とてもおどろいた様子でしたが、とて
 もよろこんでくれました。
 三角形の形に作りたかつたけど、むずかし
 くぬいような四角いようなぶかつた、こうな
 おにぎりだつたけど、お母さんは、
 とてもしょうぞうだね。

と、ほめてくれました。一口食べるこ
う、おいしい、おいしい。と、いいながら、
つぶものこさず全部食べてくれました。ぼく
も、しよにおにぎりを食べました。いづもよ
り、しよはく感じたけど、みんながよろこ
んでくれたので、ぼくは、とてもうれしく思
いました。

おむすびを作りながら、このお米を作っ
てくれて、じいちゃんたちに、ぼくが作っ
たし、おむすびを食べてあげたいと思いま
した。コロナのえいきょうで、じいちゃんたち
とい、しよにごはんを食べる機会が、たの
で、コロナがおちついたら、じいちゃんたち
にも作ってあげたいです。